

カナダの金融市場動向 Weekly Report

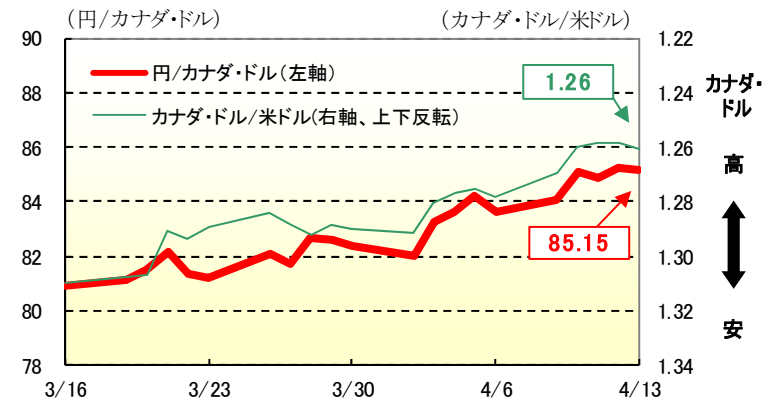
【2018年4月7日～2018年4月13日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円やカナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週は、中国が市場をさらに開放し自由貿易を推進していく方針を発表したことで、米中貿易摩擦が緩和されるとの期待が高まったことや、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉について、米州首脳会議において暫定合意が発表されるとの期待が高まったことなどを背景に、カナダの金利やカナダ・ドルは上昇しました。また、原油価格が堅調に推移したことも、金利やカナダ・ドルの上昇圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年3月16日～2018年4月13日)



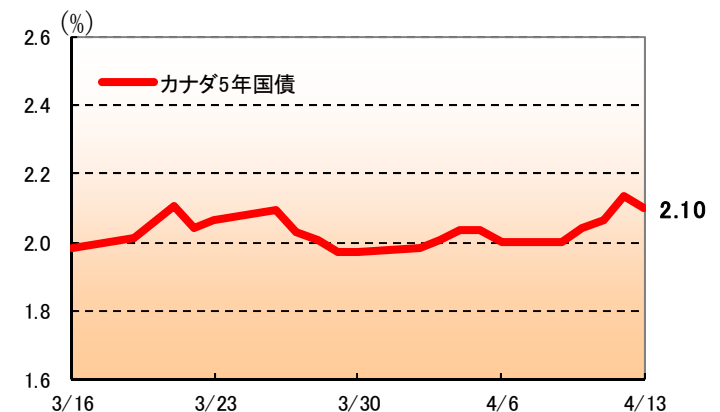
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週、カナダでは政策金利やCPI(消費者物価指数)の発表があります。カナダ経済は堅調に推移しているものの、NAFTA再交渉の先行き不透明感などから、市場では政策金利の据え置き予想が優勢となっています。ただし、NAFTAについては、先週開催された米州首脳会議で暫定合意は発表されませんが、ペンス米副大統領とトルドー加首相が今後数週間で合意に達する可能性があるとして述べたことから、交渉の進展が期待されます。

また、今週は米国で複数のFRB(米国連邦準備制度理事会)高官の講演が予定されています。米国の利上げ期待を高める内容となれば、米国金利の上昇に連れ、カナダの金利上昇圧力も高まるとみえています。

【カナダ 金利推移】 (2018年3月16日～2018年4月13日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>